

imaルアーがもっとわかる! 最新情報デジタルマガジン!



imaデジタル vol.59  
2011.8

Take FREE!

¥0

# 隙間を埋めつつ、 新たな世界を切り開く

sasuke 120 (裂波)

## ハイフロートチューン!!

### わずかな軽量化から生まれるモノ

不安定な船の上から沖堤のテトラを打ち、ヒラスズキを狙ったのが初めてこのルアーを使ったシチュエーション。重過ぎず、軽過ぎず、足もとフワフワの波気のある海面に浮かぶ船の上からのキャストでビシビシとテトラの隙間に決まる感じ。

ほんの少し軽量化されただけでこんなにも、キャストビリティが上がるものなのか?と思える程キャスト感はとっても素直な「裂波120ハイフロートチューン」。

釣りビジョン「シーバスキャンプ」の高知ロケで、初めて使った「ハイフロート」の印象は、軽くなってバランスはより絶妙になった感じが強い、が決して水面から暴れて飛び出る感じでは無い。しかも、その動きはキビキビ、活き活きと見え、かなりの泳ぎ出しのレスポンスを兼ね備えてると言えよう。

それって?? スタンダード裂波も同じじゃねって思われるでしょうが、そのインパクトというか、印象的なものは、ホントに思わず「おー!!」って思える程。

使い分けが出来るとしたら大きな武器にもなるし、ローテーションのごく小さな穴を埋めるには持って来いなセッティングになるのは間違いない!

例えばレンジ。標準#6番のフックが装備されているのだが、これを5番に変更すると、従来の裂波とほぼ同じレンジ設定に近づく感じ。フックの番手を上げてレンジの入り過ぎる感じをコントロールするにはうってつけのセッティングなのです。

このほんの些細なセッティングがショートバイトか、深いバイトを得られる

かの違いとして出てきたりするのがまた不思議なシーバスフィッシングの面白さでもある訳です!!

### 強烈なアピールの「浮上」アクション

そして、よりシャロー攻略に向いている「裂波120ハイフロートチューン」は、これがまた僕の様な「シャローフェチ」には堪らない訳でして、その泳いだしの軽快さを生かし、ほんの少しのレンジを入れて、手にはルアーが泳いでる感じが伝わって無くてもかなりのロールを発生しているという、微妙な速さの泳ぎ出し。裂波独特のレードルリップといわれる「アゴ」による泳ぎの強さがボディを軽量化する事によって、より泳ぎ出しが「スムーズに確実に泳ぐ」を低速でも実現出来ていると思います。

では、これがどういう利点を生むか? もし、磯でヒラスズキを狙ってる場合としましょう。昨今シンペンを使ったシモリの近辺でのテンションフォール(バルバロッサやハニトラを使った様な)が話題となっていますが、その逆での「浮き上がり」というメソッドがあります。これが「沈める」と同様、いやそれ以上に魚にアピールされる事はソルト界ではあまり知られていないと思いますが「バス」の世界では「浮上」のアクションが完全なメソッドとなり、その時の姿勢、動きが魚を誘発する事はかなり知られていると思います。よね? 庄司さん。(笑)

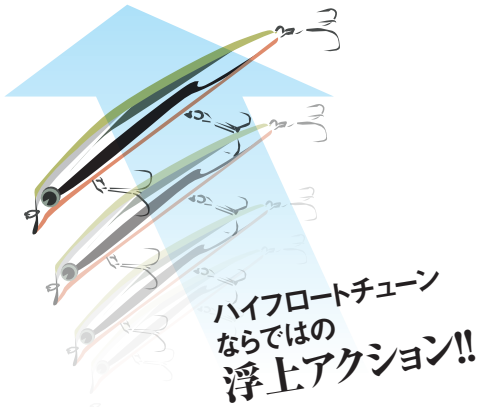
現実として、ロケ当日もテトラの間でリトリブを止めている



sasuke120裂波 ハイフロートチューンに強烈なバイトが出ました。テトラとテトラの隙間のサラシの中での「浮く」というアクションが強烈なアピールを生んでいたのは間違いありません。

## ハイフロートならではの攻略

川や港湾での釣りでもほんの少しの「流れ」を掴んでアクションし易く、テンションをキープするくらいでもしっかりとしたアクションを生んでくれる。これは大きなアドバンテージとなり、komomoやkomomo2とのシャロー域でのローテーションに加えて間違いのない設定となっています。



ハイフロートチューンならではの「浮上アクション!」ハイフロートチューンならではの「泳ぎ出し良さ!」ハイフロートチューンならではの「軽快なアクション!」そして、河川上流部の様な淡水域では、サスペンドかスローシンキングになってしまっていた通常の「裂波」と比べ、確実に淡水域でも浮くので新たな攻略法が見えてくると思います。これら数々の新しい性能を是非堪能して頂きたいです。



ANGLER  
**濱本 彦彦**  
Kunihiko Hamamoto

香川県在住ながら四国全域をカバーする人情系寂しがり屋アングラ。河川、港湾、磯、サーフとシーバスが生息する場所なら節操なくランカーに狙いを絞った釣りが得意。最近ではシーバスにルアーをじっくり見せながらバイトを取る独特の釣法に開眼。驚異的なランカーハント確率を叩き出し注目を集めている。

## ボーンボディって何?

今回のsasuke120裂波ハイフロートチューンに使われるボーン素材はボディの樹脂の呼び名である。通常ima製品に使われているのは、透明のABS(プラスチック)なのだが、今回のハイフロートチューンに使用されているのはナチュラル(乳白)のABSを使用。未塗装

の素材がボーン(骨)のような象牙色をしていることからそう呼ばれる。このボーン素材は通常ルアーで多く使用されている透明のABS樹脂よりも若干比重が軽く、さらに硬度も若干高いので、ウエイトやラトルのヒット音も大きく響くといった特徴もみられる。ima Bassでの高い実績からソルトにも応用された。素材の比重・硬度、ウエイトチューニングにより、また新たにsasukeワールドが広がった。



# sasuke 120 ((裂波)) ハイフロートチューン!!

[全長]120mm [重量]15g [タイプ]フローティング [アクション]ウオープンロール [レンジ]40~60cm [フック]ST-46 #6



#X1104 レッドヘッド



#X1105 チャートバックパール



#X1106 クラウンキャンディー



#X1107 玉彩



#X1108 イワシ



#X1109 ボラ



#X1110 ジョーカー

**2011年8月12日発売! 2,205円(税抜2,100円)**

